



# 雄飛

校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校  
学校便り 6月2号  
令和7年6月17日発行

## 功の成るは成る日に成るに非ず

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

地区総体が12日で終了した。天候に日程が左右された競技も一部あったが、週末またぎになるような変更や災害等の発生もなく無事に終えることができたと聞いている。

さて、今回の総体では本校が参加した11競技すべての会場を視察・激励のため、訪れた。車の走行距離は4日間で約380kmほどにもなった。会場はどこも声援やかけ声が響き、熱気に溢れ、さらには地区総体がこれまでの大会とは違うという雰囲気漂っていた。特に、県大会出場に係る試合では、さらなる緊張と興奮が渦巻き、力の拮抗した学校同士の試合ともなると、試合は大幅に長くなり、どちらも負けるわけにはいかないという意地のつつきり合いの様相を呈していた。これまで何度も対戦し、勝ち負けを繰り返していた戦いもあれば、ほとんど負けたこともなかった学校が「まさか」の結果を突きつけられる場面も見られた。勝って、うれしさを爆発させる選手、ベンチ、抱き合い肩をたたき合う応援席。一方で、敗戦の瞬間、その場に座り込む選手、涙をためながらも気丈に振る舞う者、嘆きともため息ともつかない空気、脱力感に包まれる応援席。両者によって創られた好試合でさえ、やがて決着がつき、非情にも終わりを迎える。互いの健闘をたたえ合う姿もあるがその笑顔もすぐに涙に濡れた。もう、このチームで試合をすることはないのかと悟った瞬間にこみ上げてくるものがあり、これまでにない感情があふれ出る。地区総体の翌日の放課後に、こんなことを語ってくれた3年生がいた。「実は、早く引退したいと思っていました。でも、負けて、しばらくすると、もっとみんなと試合がした



かったと思ったんです……。」  
「こんなに早く、家に帰るのは、なんか違う気がして……。」と偽らざる心境を教えてくれた。私も一中学3年生として、また指導者として幾度となく地区総体を経験してきたが、「もっとあのときこうしておけばよかった」と思うことの方が多い。そのときの経験は、次のチームには生かされているが、「こうしておけば」は今でもそう思う。



3年生にとっては、ここまで2年2か月の部活動生活。

これまでどう向き合ってきただろうか。「目標がその日その日を支配する」と言われるが、どんな目標を立てるかで、日々の取り組み方も変わってくる。目標もなく取り組む。臨む成果は得られるはずがない。

低い目標に取り組む場合、日々の練習にそこまで力を入れる必要はない。高い目標を立てた場合は、日々、相当しっかり準備し、真剣に取り組んでいかなければならない。そこら辺の山に登ると、富士山に登るのでは、準備や気力も体力もまったく違うのと同様である。そして、2者の達成感は比べるまでもない。加えて、標題にある通り、大会での勝利や受験の合格等はその日に成し遂げたものではない。それまでの取組や過程の成果として、よい結果であろうと悪い結果であろうと現れる。その時をどのような心境で迎えることができるかは、それまでの考え方と行動に懸かっている。「功の成るは功の成る日に成るに非(あらず)」である。



今回、県大会の権利をつかんだチームは、負けたチームの思いも背負い、これまで以上の取組を行い、上位大会をつかんでもらいたい。ちなみに、今年度の全国大会(全中)は九州各県で行われ、陸上…沖縄、水泳…鹿児島、バレーボール…長崎、ソフトテニス…熊本、卓球…福岡、剣道…宮崎、駅伝…滋賀となっている。

### 期末テストが近づく～これまでの学習の成果を問う～

定期テストと言われる期末テスト。4月からここまでに学習した内容や一部小学校の内容を含む教科もあると思われる。それでも出題範囲が限定される試験である。これに対して、実力テストや模擬テストは、対象となる範囲が広く、また、入学試験を想定したものである。単に知識のみを問われる問いが少なく、よく考えることで解答にたどり着くことができる問題なので、出題傾向に慣れておく必要がある。

期末に話を戻そう。定期テストも計画的に取り組む方がよい成果が得られる。そこで、先生方も期末に向けた学習計画をつくるように言われたはずである。定期テスト計画づくりには、ポイントが3つある。

- 1 テストに向けた3段階準備 [第1段階 テスト範囲・時間割の発表まで]…数学、英語の復習と国語の漢字、語句の意味などをしっかり押さえておくこと。[第2段階 テスト範囲・時間割発表からテスト前々日]…9教科を1日3教科ぐらいずつ割り当てて、学習していく。週の授業数が多い教科はそれだけ学習内容が広いので、時間を多くする。[第3段階 テスト前日]…翌日の3教科に絞って総復習。かける時間は、これまで学習時間を考えて決めよう。
- 2 テスト範囲を細かく細分化 各教科には単元があるので、その単元を漏らさず学習する計画を立てる。例えば1年生の理科であれば、「生物の観察と分類のしかた」「植物の分類」「動物の分類」があるので、これらの授業時間を踏まえて、どれくらい勉強しておくか計画に入れていく。加えて、いずれの教科もワークや単元プリントを何度もやり、教科書も繰り返し、読んでおくように。
- 3 目標を立てる 目標は、[最高目標 この点数ならすごうれしいという目標][最低目標 これより低い点数を取ることではないという目標][中間目標 最高と最低の間の目標]。中間目標が実際に取ることができる目標となる。3年生ともなれば、この最高と最低目標の幅が狭くなっているはず。逆に1年生は、まだ目標設定が難しい。中間目標が最高目標にできるだけ近づくように取り組んでいくことが重要であり、学力向上のポイントでもある。

テストまであと3日。これらの紹介がやや遅かったが、土日を挟んで、テスト2、3日目がある。時間を無駄にすることなく、テスト勉強に全力を尽くそう。

#### 【7月の主な行事予定】

3日(木)一学期PTA【6校時カット】

4日(金)特別支援学級保護者説明会(小学5、6年保護者対象)

7日(月)SOS出し方学習

8日(火)全校集会

9日(水)第1回学校運営協議会

10日(木)1年生に関する指導

11日(金)縄文の森ボランティアガイド事前研修

12日(土)土曜授業/第3回PIAL/かごしまジュニア検定

14日(月)学校専門部会

15日(火)生徒集会

18日(金)1学期終業式

19日(土)～20日(日)県総体陸上競技

21日(月)海の日/夏季休業(～8/31)

22日(火)三者面談～31日/県総体各種競技～25日(金)

29日(火)霧島しごと維新(企業見学会)

30日(水)縄文の森ボランティアガイド～8/1

※ あくまでも予定ですので、変更等が生じる可能性があることを予め、了解ください。